

環境生活常任委員会での「印南 宏」の発言骨子抜粋

■長年の懸案事項である住工混在解消を目指して■

住宅地内で営業している地元工業者の要望である「住工混在解消のための工業団地の造成」は、市税収入と市内雇用増を目指した「新規優良企業を誘致する工業団地整備」とは明確に分けて検討・施策の実施をしていくことが必要である。しかし、都市化・宅地化を制限した市街化調整区域に工業団地を造成する論議以前に、過去の調査から明らかかなように「資力」の観点で工業団地移転には慎重な対象企業が多い。その中では、市の施策にかける強い姿勢を示していくことや施策への信頼度を高める努力が必要である。工業団地等への集積化（高度化事業）を進めるためのアンケート調査を対象企業に実施するにあたっては、郵送だけでなく市職員が全戸を訪問すべきであり、その上で詳細な現状の分析を行うべきと考える。また、市街化調整区域を工業団地として造成する手法には大別して、都市計画法 34 条 6 号と 10 号に基づく手法があるが、そもそも 6 号では、高度化事業を進めるにあたっては核となる市内企業が必要であることに加え、企業の責任で中小企業基盤整備機構から資金を借りることになるだけに、事業進捗には大きな不安がある。市および移転対象企業の負担極小化のためには、市街化調整区域の開発という手法だけでなく、既存の資源や工業専用地域の土地活用等による集積手法も継続して検討すべきである。

■我孫子駅前、けやきプラザの利便性向上にむけて■

けやきプラザは千葉県と我孫子市共同で建設した複合施設であり、オープンしてから 4 年経過した。しかし、けやきプラザは階および施設ごとに管理者が異なるため、利用者には複雑でわかりにくい施設となっている。利用者にとってはスムーズに施設利用できることが重要であり、管理主体は無関係である。利便性向上の一貫として、けやきプラザ各施設の当日の利用状況や施設の予約者名などの情報を集約し、1 階の総合受付で一元的な案内ができるように一層の体制整備を図ることを要望したい。また、11 階の展望レストラン「旬菜 ムッターランド」の知名度向上策として看板設置等 PR の強化を図るべきである。さらには、9 月にオープンしたあびこインフォメーションセンター（アビシルベ）での紹介も実施してはどうか。けやきプラザが利用者にとって、使い勝手の良いセンターとなるよう是非努めてほしい。

■多発する自転車事故の防止策にむけて■

近年、自転車による事故が多発している。自転車事故防止策の徹底を図るべきである。「夜間無灯自転車ゼロキャンペーン」、「自転車による歩行者事故ゼロ化キャンペーン」の展開をすべきである。

『住んでよかった』そして『住んでみたい』と言われる街に

宏と語る小さな小さな
ティーパーティー開催中！
お気軽にお電話下さい。

行政相談もこちらへ！
ご意見をお待ちしています。

いんなん ひろし
印南 宏
後援会事務局 7 1 8 4 - 2 8 6 0
自 宅 7 1 8 9 - 1 5 9 8
我孫子市布佐平和台 7 - 1 - 1 8
ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>
E-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp



現場主義

ほっと Communication

印南 宏後援会 会報
2010.12.22 No.49

師走から新年へ

本格的な寒い季節を迎えています。皆さん、いかがお過ごしでしょうか！この冬はインフルエンザの大流行が心配されています。くれぐれも体調管理に気をつけてお過ごし下さい。さて、平成 22 年は閉そく感が漂う一年でした。無縁社会、年金不正受給問題、高齢化社会の歪、過去最低の大卒就職内定率など、「共同体の崩壊」と「雇用不安」が進んだ一年でした。

「坂の上の雲」の気概と精神

約 7 年間の宇宙の旅を終えて地球に戻った小惑星探査機「はやぶさ」が、約 3 億 km 離れた小惑星「イトカワ」から微粒子を持ち帰る偉業を果たしたのも平成 22 年のことでした。最後は燃え尽きながらも懸命にカプセルを地球に届けきった「はやぶさ」は多くの勇気と感動を与えてくれました。

また、年末に放映された NHK ドラマ「坂の上の雲」にも感動しました。封建の世から目覚め欧米列強に並ぶ近代国家を目指す日本の中で、自己と国家を同一視し、国家の一分野を担う気概を持った若者たちの青春群像・明治期特有の人間像が描かれます。

「はやぶさ」とそれに携わってこられた関係各位の姿を見る時、「坂の上の雲」にも描かれた「あきらめず前に進んでいく」という当時の精神と気概は、今日でも不滅であると強く感じました。

選挙の年

平成 23 年の我孫子市では、1 月に市長選挙、4 月に県議会議員選挙、11 月に 24 名（前回に比べて 4 名の定数減）の市議会議員を選出する市議会議員選挙が予定されています。いずれも私たちの生活に大きく影響を与える大事な選挙です。私たちのまち「我孫子」をどんなまちにしていきたいのかが、皆さんに委ねられています。賢明なる市民の皆さんにおかれては、日頃から、行政全般・各候補者の行動などに対して一層の関心と監視の目をお持ちいただき、皆さんの思いを市政や県政に反映させてほしいと願っています。

新年に臨むにあたって

平成 23 年も、社会、経済、政治の世界では多くの困難や課題が予想されます。しかし、私は「はやぶさ」と「坂の上の雲」が教えてくれた「あきらめない心」を大事に、力強く歩いていく年にしたいと思います。引き続きのご指導とご支援をお願い申し上げます。

＜我孫子市長選挙 立候補予定者による公開討論会のお知らせ＞

- ◆あなたは立候補予定者のことをどれだけご存じですか？
- ◆立候補予定者の生の声で施策を、将来のビジョンを聞きませんか？・・・是非、ご参加下さい。

日 時：平成 23 年 1 月 10 日（月・祝）
18 時 30 分開場 18 時 45 分開会 20 時 30 分閉会
会 場：我孫子駅南口 けやきプラザ ふれあいホール
主 催：2011 年我孫子市長選公開討論会を開く市民の会



12 月定例市議会

12 月定例市議会は、11 月 29 日から 12 月 16 日までの 18 日間行われました。今議会は現市長の任期における最後の定例市議会となりました。この定例市議会では、印南も含め全部で 11 名の議員が質問に立ちました。諸課題の中、私は交通、産業・経済行政など市民から寄せられた課題に的を絞って個人質問を行いました。

＜主な議案＞

- ①23 年度人件費抑制措置に伴う給与の 2%削減条例（一般職・特別職）
 - ②文化財保存基金条例
 - ③指定管理者の指定について（障害福祉センターみずき、老人福祉センターつつじ荘、西部福祉センター、根戸ディサービスセンター）
 - ④市税外収入金に係わる延滞金徴収に関する条例の制定
 - ⑤一般会計補正予算
 - ⑥市長の退職手当減額条例（10%カット）
- ※市議会議員の歳費も議員発議で削減案を提出し、可決しました。

- 給料月額を 2%引き下げ（総額 1 億 770 万円）
職員一人当たりの年間引き下げ額
常勤一般職 △104～△174 千円
常勤特別職 △200～△300 千円
- 市議会議員の報酬月額を引き下げ
月額 45 万→月額 44 万円
- 市長の退職金
市長の退職金支給額の引き下げ
※市長は 1 任期 4 年終了ごとに退職金が支給（市議会議員は無）
＜計算方法：給料月額×支給割合×支給月数＞
 - ・ 現行の給与額による計算
 $842,000 \times 0.45 \times 48 = 18,187,200$ 円
 - ・ 新しい給与額による計算
 $757,000 \times 0.45 \times 48 = 16,351,200$ 円（差額 1,836,000 円）



♪ 是非、ご覧下さい!! ♪

- ◆印南宏が代表を務める「あびこ21」ホームページ <http://abiko21.exblog.jp/>
- ◆我孫子市公式ホームページ <http://www.city.abiko.chiba.jp/>



12 月議会の主な争点

- 議案 2 号として提起された市長の退職金 1 割削減案に対して、4 年前の市長選出時の「市民感覚で退職金を見直す」とした公約に絡み、削減額の水準の是非が争点に。（結果、16 対 11 の賛成多数で可決）
- 一般会計補正予算では生活保護費の増大がポイントに。
- 次回議会案件である平成 23 年度予算編成の行方が論議。
- 平成 23 年 11 月に改選を控え、残任期 1 年の市議会における正副議長を選出しました。印南 宏は環境生活常任委員会委員・議会運営委員会副委員長として活動しています。
- 監査委員等の選任が市長から提起され審議を行いました。市長選を目前の案件だけに一部では慎重な判断が求められました。
※地方自治法 124 条に基づく請願として以下 4 件が提出
- ①携帯電話中継基地局設置に関する条例制定、②つくし野交差点に新たな歩道陸橋の早期建設要望、③つくし野 3 丁目、我孫子ビレッジ 7 号棟南側、根戸小児童のためのガードレールの早期設置、④あびバスを布佐地域に運行を求める請願（すべて可決されました。）

本会議での「印南 宏」個人質問の骨子

I. 我孫子の最適な地域公共交通を目指して

我孫子市は、平成 22 年 2 月に「我孫子市地域公共交通会議」を設置し、市役所、公共交通事業者、市民の皆さんなど関係者が、我孫子市にとって最適な公共交通のあり方は一体何なのか、どんな交通体系を創造していけばよいものかなど、地域の公共交通に関する「我孫子市地域公共交通総合連携計画」を策定しているところです。その連携計画について、質問と提言を行いました。

II. 新木の日本一危険な通学路の改善を！

「あの踏切危ないね。」電車が通過した後、車と通学途中の小学生が競って踏切を渡ろうとしている光景を、毎朝のように私は目にしています。いつか事故が起きてしまうのでは！と、私が毎日冷や冷やしているこの踏切とは「下新木の踏切」のことです。この踏切の早期改善策を具体的に提示し質問しました。

III. 我孫子市内の経済活性化に向けて。

市内経済活性化にむけて、いま我孫子市としてできる施策には何があり、何ができ、また何をやるべきかという観点で、①「商工業振興基本条例」、②「住宅リフォーム助成制度」、③「小規模工事等契約希望者登録制度」、④「木造住宅耐震改修工事助成金制度」の 4 点に的を絞った内容で質問と提言を行いました。

＜詳細は議会だより、我孫子市議会の HP をご参照下さい。＞

<http://www.city.abiko.chiba.jp/index.cfm/19,496,77,html>

◆*****◆

宏と語る小さな小さなティーパーティーのご案内

12 月議会報告と「これで良いのか、我孫子市は」の視点で、意見交換をおこなう小さな小さなティーパーティーです。

どうぞ、みなさま奮ってのご参加をお待ちしております。

- ◆日 時：平成 23 年 2 月 5 日（土）午後 6 時～7 時半位
- ◆場 所：布佐南近隣センター（会議室）
- ◆その他：参加費無料・事前予約等不要です。



◆*****◆